

研修レポート

豊橋市民病院 研修医

この度は4週間、新城市民病院において地域医療研修を行わせていただきました。普段は救急外来での診察を主としていたため、初診での診察、初期治療はある程度は行うもののその後のフォローは専門科におまかせする、というのが常だったのですが、総合診療科の外来では初診で診察した患者をそのまま入院、外来などでフォローしていくことができ、次の外来予約をいつ取るのか、次回は検査を追加するのか、いつフォローを終了するか、などこれまで上級医におまかせしていたことを自身で考える貴重な経験となりました。また、救急外来では関わることのない検診異常、生活習慣病などの診療にも携わらせていただき、自身の知識の狭さを実感するとともに、患者の生活に踏み込み、社会的な事情も考慮したうえでの診療など新たな視点を学ぶことができました。

また、外来での診察後には診察、検査、治療方針などに関して丁寧なフィードバックをいただき、また毎日のカンファレンスでも追加で必要な診察、行うべき検査、鑑別できていない疾患などのフィードバックをいただき、改めて自身の診療を見直し、また知識、経験を得ることができました。

朝にはいつも勉強会があり、総合診療科の先生方がスライドを用いて知識の共有、医療の質の向上に努めているのですが、この発表も非常にわかりやすい上に質が高く、とても勉強になりました。月に1度行われるEBM勉強会では、どういった論文を選ぶべきか、どの論文のどのようところに注目すべきかなど、自身で診療をupdateするための手法を学ばせていただきました。

先生方のみならずコメディカルの方々なども非常に優しく親切で、楽しく有意義に研修を行うことができました。本研修で学んだたくさんのことを持ち帰り、豊橋での残りの研修、また専攻医となったあとの医療に活かして行きたいと思います。4週間という短い期間ではありましたが、指導医の先生方、コメディカルの方々など、多くの方に大変お世話になりました。ありがとうございました。